

事務事業評価シート

(H.30)No.	1503	(H.29)No.	-
-----------	------	-----------	---

事務事業名	中学校部活動適正化事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学校教育室	中森 早苗	

会計区分	事業コード	481101
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	中学校部活動適正化事業	
項 中学校費	(小事業名)	
目 教育振興費	中学校部活動適正化事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	1	生きる力を育む教育の推進
	施策	1	学校教育
重点プロジェクト	2.若者定住促進プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	部活動指導員の配置により、配置された部の活動内容を専門性の高いものとし、中学校の生徒にとって安全で、より効果的にするとともに、顧問教員の超過勤務の実態を軽減させる。
事業内容	部活動指導員を2名配置することにより、配置中学校の部活動指導を三重県部活動ガイドラインに準じた安全な運営にし、効果的な方法で実施します。活用により、配置された部活動の内容の充実を図り、効果的な指導法の検討を行います。また、配置された部活動顧問の超過勤務の実態改善を図ります。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
主な事業の実績・計画			部活動指導員を市内公立中学校に配置し、週当たり2日(平日2時間、週休日等4時間)の活用により、専門性の高い、安全で効果的な部活動を実施する。あわせて外部指導員の活用により顧問を務める教員の過度な負担の軽減を図る。 平成30年度は、2名の配置により部活動ガイドラインに沿った安全で効果的な部活動を実施し、検証をする。		部活動外部指導員の活用により、専門性の高い指導体制を整え、安全で効果的な部活動運営を実現する。顧問の教員にとっては、過度な負担の軽減を図る。	部活動外部指導員の活用により、専門性の高い指導体制を整え、安全で効果的な部活動運営を実現する。顧問の教員にとっては、過度な負担の軽減を図る。	部活動外部指導員の活用により、専門性の高い指導体制を整え、安全で効果的な部活動運営を実現する。顧問の教員にとっては、過度な負担の軽減を図る。

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費				559千円	559千円	559千円	559千円
内訳(千円)	国・県支出金			372	372	372	372
	地方債						
	その他()						
	一般財源	0	0	0	187	187	187
人工数	職員			0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
	臨時職員等			0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
②概算人件費	0千円	0千円	0千円	388千円	388千円	388千円	388千円
①+②総事業費	0千円	0千円	0千円	947千円	947千円	947千円	947千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)	<ul style="list-style-type: none"> 部活動は、望ましい人格形成・健全な社会の形成者、豊かな心・健やかな身体の育成などに寄与する中学校教育の一環として大切にしてきた取組です。 専門性の高い部活動指導員を配置することで、より効果的で安全な部活動の実施に役立てることができました。 部活動指導員を配置することにより、配置された部の顧問教員の超過勤務状況の改善が図れます。これは、国や県の部活動ガイドラインによって、指摘されている中学校部活動に係る現状の課題解消に役立つものです。
------------------------------------	--

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	<p>6. 事務事業の取組に係る市の計画</p> <p>第二次名張市子ども教育ビジョン ばりっすくすく計画(第3次)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 2名の部活動指導員を配置することで、該当校の配置部活動の安全で効果的な部活動を実現します。 配置部活動の顧問教員の超過勤務の実態の改善を図ります。 国・県の部活動ガイドラインに準じた部活動を運営するには、計画的に事業を進め、継続した取組が必要です。 	